

## 第6部 2021年度の環境に関する取組みについて

### 豊岡市環境審議会の意見 (今後の取組みに向けて)

#### ■環境審議会の意見

本報告書第2部から第5部までの内容に対し、第2次環境基本計画の「目標とする姿」の体系に合わせ、環境審議会からの意見や要望をまとめています。発行時期の都合上、本意見は2年後の施策に反映されます。

取組みを期待する主体を「市」「市民」「事業者」で分け、記号を付けています。また、市については、主な関係課を載せています。

記号： **市** **市民** **事業者**

## (1) 「目標とする姿」ごとの取組みについて

### 目標像①手入れの行き届いた豊かな森が、きれいな空気や水を育んでいます

森林を保全するためには、林業ビジネスが成り立つことが必要です。森林環境譲与税をうまく活用し、除間伐の積極的な実施や広葉樹の植林拡充、建築物への地場産材活用など、民間の林業ビジネスの後押しとなる取組みを進めてください。また、林業従事者の減少に伴う人手不足を補う方法を模索していくことも求められます。

市 事業者

市内の竹林が増加し、生態系への悪影響や土砂災害のリスクが高まることが懸念されます。市民が竹林問題を知る機会や伐採する機会（筍掘りを兼ねた竹林整備）をつくるとともに、竹林伐採後の利活用（竹チップの肥料化など）についても情報提供や支援制度を充実させてください。

市 市民 事業者

上記の取組みを推進するには、森林所有者を把握し、協力を求めていくことが必要です。民有林での森林保全が進むよう、森林所有者の把握と、森林保全に対する啓発に努めてください。

市 市民 事業者

【主な関係課】

農林水産課

農林水産課

地籍調査課  
農林水産課

### 目標像②里山が様々に利用され、関わる人が増えています

有害鳥獣駆除数が高水準を維持しており、農林業への被害面積や被害額も減少しています。一方で、駆除後の適切な処理が困難な課題となっています。駆除後の処理に対する施設整備や、軽トラックへの電動ウインチ設置支援制度の導入などが求められます。

市 市民 事業者

有害鳥獣駆除を進めるうえで、駆除に関わる方だけではなく、事業者による駆除後の肉や皮の有効活用、市民によるジビエ文化の普及や学校給食での利用など、具体的な研究に着手してください。

市 市民 事業者

【主な関係課】

農林水産課

農林水産課  
環境経済課  
文化・スポーツ振興課  
教育総務課

### 目標像③使われていない農地の利用が進み、生きものの豊かな田んぼが増えています

耕作放棄問題について、所有者だけでなく、地域と一緒にって対策をとるためのコーディネート機能を充実させてください。

市 市民 事業者

耕作放棄地について、後継者がいないわけではなく、現在の仕事を続けると生活できない厳しい実情があります。短期間だけ耕作を引き受けてくれる事業体との連携が求められます。

市 市民 事業者

市民へ地場産物の購入を積極的に促すとともに、学校給食での地場産物や旬菜の利用がさらに進むことを期待します。事業者においても、積極的に地場産物を取り扱い、活用できるような仕組みづくりをしてください。

市 市民 事業者

【主な関係課】

農業委員会  
農林水産課

農業委員会  
農林水産課

農林水産課  
教育総務課  
環境経済課

## 目標像④あちこちの川や海辺で、子どもたちの楽しむ声がきこえてきます

海岸や河川の清掃活動が継続的に行われるよう、さらなる普及啓発に期待します。漂着ごみは、河川上流部、近隣自治体、海外からも流れ着いています。啓発範囲を広げるとともに、全市民が関心を持って清掃活動等に関わるようにしてください。

市 市民

観光地周辺にごみが多い傾向があります。引き続き、市外から来られる観光客等に対しても、ごみのポイ捨て禁止や分別マナーについて啓発を行うことが求められます。

市 市民 事業者

漁礁や藻場は、魚類にとって繁殖場所や隠れ場として重要な機能を果たします。今後も継続的に漁礁や藻場を設置し、効果検証を行うとともに、「海を守ることの大切さ」の周知に努めてください。

市

【主な関係課】

生活環境課

生活環境課  
大交流課

農林水産課

## 目標像⑤コウノトリも住める豊かな生態系が、バランス良く保たれています

国内外のコウノトリ繁殖地との情報交換や連携を進め、市内でのコウノトリ野生復帰の取組みにフィードバックしてください。また、「コウノトリ横断中」の交通標識を繁殖巣塔周辺だけではなく頻繁に飛来する周辺へ設置したり、耕作者に対して網目の細かい防獣ネットの利用を促すなど、コウノトリの事故を防ぐよう努めてください。

市 市民

市内で外来種が増加している一方、外来種問題について理解している市民が少ないのが現状です。外来種問題について、市民に正しく情報発信し、戦略的な対策を進めてください。

市 事業者

湿地保全ボランティアを増やすため、地元の受け入れ体制の整備や支援、地域内外への発信に努めてください。また、引き続き、市民や事業者が湿地保全などの「小さな自然再生」に取り組むための支援や啓発に努めてください。

市 市民 事業者

【主な関係課】

コウノトリ共生課  
農林水産課

コウノトリ共生課

コウノトリ共生課

## 目標像⑥様々な世代の人々が、地域の祭りや行事を楽しみ、未来へとつなげています

伝統や文化を継承していこうと思う市民がいなければ、支援だけしていても意味がありません。支援だけでなく、担い手を育成する心構えや施策展開が求められます。

市 市民 事業者

地域の伝統行事や伝統文化を広く知ってもらい、それを楽しむことで、新たな価値の創出につながる可能性があります。様々な人々が交流し、伝統を守りながら、新しい伝統が作られていくことを期待します。

市 市民 事業者

新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの行事や祭りが中止となり、行事の再開が危ぶまれるものもあります。そうした行事や祭りの再開には十分な支援が求められます。

市

【主な関係課】

文化・スポーツ振興課  
生涯学習課  
コミュニティ振興課

文化・スポーツ振興課  
環境経済課

文化・スポーツ振興課  
コミュニティ振興課  
各振興局地域振興課

## 目標像⑦子どもたちが、身近な地域の自然についてよく知り、大切にしています

ふるさと学習において、単にガイドブックだけでの授業になるのではなく、「地域の生きものとふれあう体験学習」を実施する意義を理解し、支援していくことが必要です。そうした場をつくるためにも、引き続きビオトープ水田の維持及び増設、活用に取り組みながら、講師派遣等の支援も充実させてください。

市 市民 事業者

コウノトリ KIDS クラブの参加者が増加しており、市内の自然環境についてよく理解している子どもが増えていることがわかります。引き続き、コウノトリ KIDS クラブ事業を展開するとともに、卒業生のフォローアップ体制が充実することに期待します。

市 事業者

市内には、子どもたちが自然に親しむ機会を提供している団体があります。そうした団体の活動が継続されるよう、積極的な支援を期待します。

市 事業者

【主な関係課】

コウノトリ共生課  
こども教育課  
こども育成課

コウノトリ共生課

コウノトリ共生課

## 目標像⑧市民みんなが、ごみの減量化を実践し、1人あたりの排出量が徐々に減っています

ごみ搬入量や計画収集量が減少するよう、ごみ減量化の普及啓発に努めてください。また、ごみの分別やごみ出しが困難な方がおられます。ごみの戸別収集ができる体制や、ヘルパーさん、近隣住民との共助の仕組みづくりが求められます。

市 市民 事業者

「豊岡市プラスチックごみ削減対策実行計画」の周知を徹底するとともに、市が率先的に使い捨てプラスチック削減につながる行動をしてください。また、市民や事業者の取組みを促す支援や体制づくりが求められます。

市 市民 事業者

家庭科の調理実習で食材を無駄にしない切り方やごみの分別指導をするなど、環境に配慮した啓発や教育を徹底してください。また、学校給食や食堂でのフードロスについても、現状を把握したうえで対策をしてください。

市 市民

【主な関係課】

生活環境課  
高年介護課

生活環境課

生活環境課  
こども教育課

## 目標像⑨市民みんなが、楽しみながら省エネ行動を実践し、再生可能エネルギーの利用も増えています

公共交通機関を利用することは、CO<sub>2</sub>排出量を削減するだけでなく、交通インフラの維持にもつながります。電車やバスといった公共交通機関の利用、時差出勤や車の相乗りなど移動方法を考える啓発を強化してください。また、EV車普及に向けた支援制度の導入にも期待します。

市 市民 事業者

【主な関係課】

生活環境課  
都市整備課

節約意識が環境意識につながることで、反対に環境意識が節約意識につながることも、市民や事業者に理解していただくことが重要です。

市 市民 事業者

脱炭素を目指すうえで、自然を破壊しての再エネ導入ではなく、屋根や駐車場を利用した太陽光発電といった生物多様性や景観へ配慮した再エネ導入が推進されることを求めます。

市 市民 事業者

【主な関係課】  
生活環境課

生活環境課  
都市整備課

## 目標像⑩環境をよくすることで経済が活性化され、交流も広がっています

環境経済認定事業に認定されるメリットが求められます。引き続き、認定事業の商品に対する関心を深め、後押しする機会の創出に期待します。

市 事業者

環境経済認定事業に認定されるための支援策も充実されることを期待します。

市 事業者

【主な関係課】  
環境経済課

環境経済課

## (2) まとめ

第2次豊岡市環境基本計画の推進5年目にあたる今年度の評価は、「よくがんばりました」が2項目(目標像③⑥)、「この調子でがんばろう」が7項目(目標像②④⑤⑦⑧⑨⑩)、「もっとがんばろう」が1項目(目標像①)という結果でした。昨年度は「よくがんばりました」に該当する目標像はありませんでしたが、今年度は2項目が評価を上げて「よくがんばりました」となり、また「もっとがんばろう」の項目数も昨年度に比べてひとつ減りました。このことから今年度の評価を全体としてみると、諸課題への取組みは進んでいるように思われます。

「よくがんばりました」となった目標像③と⑥についてみますと、③は学校給食での豊岡産野菜の利用率が豊岡市独自の目標値を上回っていることなどがその理由です。⑥は歴史博物館「但馬国府・国分寺館」における公開講座の開催数が昨年度に比べて3倍ほど増え、それにともない参加者数も10倍近く増加したことなどによって、こうした評価になりました。

一方で、「もっとがんばろう」となった目標像①ですが、その理由のひとつは徐間伐面積の大幅な減少です。林業の担い手不足が大きな原因だと考えられます。そこで環境審議会としては、林業の担い手を確保するために森林環境譲与税を活用し、林業ビジネスの後押しとなる取組み(建築物への地場産材の活用、広葉樹の植林拡充など)を進めることを提案しています。

環境審議会は、「もっとがんばろう」という評価がなくなるような様々な取組みを、市民や事業者、豊岡市の結節点となって支えていきます。

2023年1月

豊岡市環境審議会 会長 山室 敦嗣  
副会長 雀部 真理  
委員 青柳 順子・安藤有公子・木築 基弘  
高橋 佳大・田原 美穂・戸田 勝之  
西垣由佳子・野世 英子・洞田美津子  
増原 直樹・村田美津子・山下 正明  
吉本 初司



**【お願い】**

豊岡市環境報告書は、毎年公表するものです。

次年度以降より充実した報告書になるよう、皆様のご意見・ご感想や、ご提案・取組み事例の情報などをお寄せください。

**豊岡市市民生活部生活環境課地球温暖化防止対策室**

**住 所:**〒668-8666 豊岡市中央町2番4号

**電 話 番 号:**21-9136(直)

**FAX 番 号:**23-0915

**E - m a i l:**ondankaboushi@city.toyooka.lg.jp

**H P 検 索:**